

廣岡選手が完勝で4連勝を達成！ 東選手がランキング首位をキープして最終戦へ



2019年7月21日 鈴鹿サーキット国際南コース(三重県) くもり(ドライ) 参加台数: 16台

2019 ROK SHIFTER CUP 鈴鹿シリーズの第8戦 / 第9戦が7月21日に開催された。同シリーズは今回の大会を含めて、残り2大会・4戦。イタリアで開催されるインターナショナルファイナル参戦の招待チケットが懸かったチャンピオン争いは、いよいよ大詰めだ。エントリーは最年少19歳、最年長57歳の16名。うち10名が35歳以上を対象とするマスタークラスの選手だ。

注目のポイントレースでは、東拓志選手(NEXT-ONE Racing)が151点で他を大きく引き離してトップ。2番手には122.5点の廣岡陸勢選手(トレンタクワトロ奈良)が、3番手には96.5点の金田翔選手(TAKAGIPLANNING)が着けている。マスタークラスでは、西島毅選手(ぴいたぁぱん)が34点で首位。それに続く岡本孝之選手(ハラダカートクラブ)、西野武志選手(LYNX)、佐藤奨二選手(INTREPID JAPAN CORSE)、加藤丈宜選手(MOMOX Kart Racing)までの上位5名が7.5点差の中にひしめく大接戦になっている。

大会当日は早朝に雨が降ったが、しばらくしてコースはほぼ乾き、タイムトライアルは全車スリックタイヤ装着で行なわれた。ここで48秒730のトップタイムをマークしたのは、前大会を欠場した水越選手。2番手には廣岡選手が着けた。3・4番手は東選手と伊藤慎之典選手(HRT&チャリ走り!GO!KART)だ。マスタークラスでは佐藤選手が総合7番手でトップに。岡本選手が総合8番手、加藤選手が総合9番手に続いている。


